

令和3年度 事業報告書・決算報告書

公益財団法人福武財団

令和4年6月11日

令和 3 年度事業報告・決算報告

I. 事業の状況

当年度の財団は、引き続きコロナ禍の中、美術館事業全体の来館者数が、予算比 102.7%、前年度比 116.7%と幾分回復の兆しをみせてはいるものの、これまで約 4 割を占めていた、海外からのインバウンドが停止したままであり、平成 30 年度(通常年実績)比では 38.2%と低い水準が続いている。各美術施設では、検温、消毒、マスク着用の徹底・継続や、密を避けるための入館者人数の制限、美術館カフェの座席数縮小等できる限りのコロナ対策を行いつつ、お客様の受入を行っている。

当年度の新たな美術作品展開としては、直島の宮浦ギャラリー六区での瀬戸内「鍛造景」資料館の展示、小豆島・福武ハウスでの影絵「福田うみやまこばなし」の上演、瀬戸内国際芸術祭 2022 の作品準備などがあげられる。また、VTS (Visual Thinking Strategy : 対話型鑑賞法) を活用した教育プログラムの導入・実施が進められており、オンライン形式でのフォーラムや講演会も多数実施されている。

助成事業は、引き続きコロナ禍の中での活動ではあるが、通常規模の助成金支払いを実行し、助成先情報共有会はオンライン形式で実施している。

寄付受入の面では、福武美津子様からの豊島横尾館土地建物現物寄付受入や福武家信託財産様からの現金寄付受入(作品購入資金)があったが、作品購入の方は次年度実施となっている。

財政面では、引き続き事業収入減の影響が大きく、雇用調整助成金等の申請・受入を行うとともに事業支出の削減等を進めたが、財源不足は解消できず、最終的には、計画どおり基本財産の一部取崩を実施した。これにより財政的難局を乗り切っていく。

定款第 4 条に掲げる事業として、下記の事業を行った。(敬称略)

A 美術館及び美術施設の設置運営に関する事業

以下の美術施設の運営を行った。当年度は、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた年となったが、入館者数は徐々に戻りつつある。

① . 「地中美術館」の運営

ベネッセアートサイト直島の中核施設として、安藤忠雄設計の環境へ配慮した美術館に、クロード・モネの「睡蓮」シリーズ他を展示、年間 283 日を開館、66,826 人(対前年+10,602 人、118.9%)の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 7,646 人であった。また、当年度も予約制による運営を継続している。

② . 「李禹煥美術館」の運営

安藤忠雄設計の美術館に「もの派」で有名な李禹煥の作品を展示、年間 283 日を開館、19,767 人(対前年+3,089 人、118.5%)の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 2,104 人であった。

③ . 「直島銭湯『I♥湯』」の運営

大竹伸朗の作品を展示する直島銭湯「I♥湯」を年間 259 日開館、16,250 人(対前年+2,929 人、

122.0%)の入館者に対し、日本文化の普及と地域交流の場の提供を行った。なお、運営は直島町観光協会に委託、施設入館料は当財団に帰属する事業構造としている。

④ . 「ANDO MUSEUM」の運営

安藤忠雄建築研究所設計のANDO MUSEUMは、直島の木造古民家と安藤建築が融合したMUSEUMで、年間262日開館、20,508人（対前年+2,980人、117.0%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は1,692人であった。

⑤ . 「宮浦ギャラリー六区」の運営

西沢大良建築設計事務所設計の宮浦ギャラリー六区は、夏季に瀬戸内「鍛造景」資料館の展示が行われた。銅製錬の過程で発生する「鍛（からみ）」に着目し、瓦や煉瓦など建材として直島の風景の中に残る鍛がつくる風景を収集・展示した。年間27日開館し、646人の入館があった。

⑥ . The Naoshima Plan「水」の運営

直島にある古い日本建築を改装した施設であり、年間53日開館し9,397人の入館があった。地域住民等の運営により地元住民と来島者の相互交流を促進した。

⑦ . 美術施設（石橋・碁会所・はいしゃ）の管理

（株）ベネッセホールディングスに、石橋等の美術施設を減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑧ . 「女根／めこん」の運営

女木島にある大竹伸朗作品となる女根は、年間を通して休館であった。

⑨ . レアンドロ作品「不在の存在」の運営

女木島にあるレアンドロ作品となる不在の存在は、年間を通して休館であった。

⑩ . 「犬島精錬所美術館、犬島『家プロジェクト』、犬島 ぐらしの植物園」の運営

三分一博志設計の「犬島精錬所美術館」に、柳幸典の作品を展示、年間124日を開館、5,592人（対前年△989人、85.0%）の入館者に対し、循環型社会の普及を行った。また、児童等の無料入館者は787人であった。犬島「家プロジェクト」では、名和晃平、荒神明香、ベアトリス・ミリャーゼス、半田真規、オラファー・エリアソン等の作品を展示・運営した。自然とともに暮らす喜びを体験する「犬島ぐらしの植物園」の運営も行われた。また、通信環境改善のため、犬島光ファイバーケーブル敷設工事が実施された。今後、通信環境の大幅改善が期待される。

⑪ . 「豊島美術館」の運営

西沢立衛設計の美術館に、空間造形作家で有名な内藤礼の作品を展示、豊島の中核施設として、年間248日を開館、22,944人（対前年+3,773人、119.7%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は1,678人であった。

⑫ . 「森万里子作品（トムナフーリ）」の運営

豊島の森万里子作品「トムナフーリ」は、年間を通して休館であった。

⑬ . 「ボルタンスキー作品（心臓音のアーカイブ）」の運営

生と死をテーマとしたクリスチャン・ボルタンスキーの作品を展示する美術館。年間248日を開館、10,986人（対前年+1,609人、117.2%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は765人であった。令和3年7月には、クリスチャン・ボルタンスキー氏追悼の特別映像も公開された。

⑭. 「豊島横尾館」の運営

豊島横尾館は、建築家・永山祐子設計の建築に、横尾忠則の作品を展示した美術館で、年間 248 日を開館、9,874 人（対前年+1,283 人、114.9%）の入館があった。児童等の無料入館者は 762 人であった。令和 3 年 4 月、従来賃借していた本施設の土地建物の現物寄付受入が実行された。

⑮. 「豊島八百万ラボ」の運営

豊島八百万ラボは、年間を通して閉館であった。次年度に向け、作品入れ替えを検討中。

⑯. 「針工場」の運営

針工場は、豊島家浦地区にある旧針工場に宇和島の造船所にあった船型を運び展示した大竹伸朗作品で、芸術祭のテーマである「海の復権」を象徴する施設となっている。年間 91 日を開館、1,893 人（対前年+138 人、107.9%）の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 194 人であった。

⑰. 「イル ヴェント」の運営

トビアス・レーベルガーの作品を展示する豊島の美術施設「イル ヴェント」は、年間を通して休館であった。

⑱. 「福武ハウス」の運営

小豆島福田地区にある福武ハウス、休校中の福田小学校の施設を活用した西沢立衛設計の美術館で、アジアのアーティストによる作品を中心に展示している。年間 4 日を開館、58 人の入館があった。なお、児童等の無料入館者は 22 人であった。また、令和 3 年 4 月には、影絵「福田うみやまこばなし」（出演：影絵師：川村 亘平斎、作曲家：石田多朗、音楽家：オオルタイチなど）を上演し、112 人の来場があった。

⑲. 「美術館・美術施設における美術関連商品の販売及び休憩施設の設置」

ア. 「地中ストア」の運営

オリジナル商品と地中美術館に関係する作家・建築家の書籍類を販売した。

イ. 「李禹煥美術館ストア」の運営

オリジナル商品と李禹煥及び安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

ウ. 「直島銭湯 I ♥ 湯ストア」でのオリジナル商品販売

オリジナル商品及び大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

エ. 「ANDO MUSEUM ストア」の運営

オリジナル商品と関係する安藤忠雄に関する書籍類を販売した。

オ. 「宮浦ギャラリー六区ストア」の運営

オリジナル商品と関係する作家の書籍類を販売した。

カ. 「女根ストア」の運営

オリジナル商品と関係する大竹伸朗に関するグッズ類を販売するが、休館中。

キ. 「レアンドロカフェ」の運営

女木島の不在の存在のカフェにおいて、飲み物を中心とした軽食を提供するが、休館中。

ク. 「犬島ストア&カフェ」の運営

犬島精錬所美術館、犬島家プロジェクト、犬島くらしの植物園に関係するオリジナル商品と作家の書籍類を販売した。また、カフェにおいて飲み物を中心とした軽食を提供した。

ケ. 「豊島美術館ストア&カフェ」の運営

オリジナル商品と内藤礼及び西沢立衛に関する書籍類を販売した。また、カフェでは豊島で取れた食材を中心に飲み物・軽食を提供した。

コ. 「ボルタンスキーストア」の運営

オリジナル商品とボルタンスキーに関する書籍類を販売した。

サ. 「豊島横尾館ストア」の運営

オリジナル商品と横尾忠則に関する書籍類を販売した。

シ. 「豊島八百万ラボストア」の運営

オリジナル商品と作家に関する書籍類を販売するが閉館中。作品入れ替えを検討中。

ス. 「針工場ストア」の運営

オリジナル商品と大竹伸朗に関する書籍類を販売した。

セ. 「福武ハウスストア及び福田アジア食堂」の運営

関連作家の書籍・グッズ類を販売するとともに、アジア及び地元関連の飲み物・軽食を提供中。

ソ. 「地中カフェスペース」の運営委託

(株)ベネッセホールディングスに、地中カフェスペースを減価償却相当額で賃貸し、維持管理費の軽減を図った。

⑳. 美術研究の推進

美術館事業の基礎となる美術研究を進めた。特に、寄託を受けている国吉康雄作品に関連し、当年度は、次のような美術研究・国吉研究を実施した。

- ・第3期、1年目となる岡山大学寄付講座「国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座」へ5百万円の寄付を継続実施（公益財団法人福武教育文化振興財団との共同寄付）。岡山大学では、当年度も同講座が開講され、延べ742人の学生が受講、美術鑑賞教育を学んだ。国吉研究の深化等を期待している。また、当年度は、オンラインでの活動が中心となり、以下の国吉康雄企画展等を実施し、国吉康雄の理解と普及に努めた。
- ・令和3年11月13～14日、オンラインで「国吉祭 On-line Studies 2」のイベントを実施し、763人の参加があった。
- ・令和3年12月5～26日、「And Recovering Them そして、それらを回復する」(ART)展を開催。岡山大学内での国吉作品の展示を中心に55,227人の閲覧があった。
- ・国吉作品等を題材とした対話型鑑賞法の研究が、引き続き進められている。

㉑. アーカイブの整備継続

美術品台帳、美術保存資料、画像、動画ストレージなど、美術館アーカイブの整備が急速に進んで来ている。また、その活用についても、展示企画、広報誌、ブログ、新人教育、研修プログラム、鑑賞プログラムなどの場面で広がりを見せてきている。

㉒. 美術施設周辺での地域資源を活用した地域振興の推進、景観保全の推進

美術施設の周辺には、豊かな自然、素晴らしい景観、多様な建築物など、地元の地域資源が現存している。これらを顕在化させた体験プログラムの開発等による地域振興につなげる活動や、美術施設周辺における景観保全の動きも進んできている。

⑳. 当財団美術施設としてのベネッセハウス内作品展示

ベネッセハウス内の一部スペースを賃借することにより、ベネッセハウスミュージアムの一部を当財団の美術施設として運営した。これにより、展示場所の拡大を図り、公益性の観点から、当財団所有作品の積極的な公開を行った。当年度は 308 日を開館した。

㉑. 直島における（仮称）新美術館の準備

直島に（仮称）新美術館の建設準備を進行中。令和 4 年度の着工を目指している。建築家安藤忠雄氏の設計による美術館で、アジア系作品を中心に展示予定。

B 美術に関するイベント並びに国際交流事業

① . 「シンポジウム」の開催

コロナ禍の中、次のオンラインフォーラムが開催された。

□「瀬戸内アジアフォーラム 2021 Artists' Breath Live」の開催

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

共催：公益財団法人福武財団、大地の芸術祭実行委員会

日時：令和 3 年 10 月 17 日

開催方法：YouTube Live にて全世界生配信

パブリックビューイング会場：高松シンボルタワー展示場、及び、新潟県十日町市越後妻有里山現代美術館 MonET

テーマ：～コロナ禍の中、アーティストはいま～

参加者及びプログラム：約 100 人のアーティストから寄せられるブックレットの公開と、世界 28 の国と地域から 32 組のアーティストが参加するライブレポートで構成するフォーラムをオンラインで開催。世界中の国と地域で活躍しているアーティストによるコロナ禍での思いや活動状況などの発表を通じて、国内外の多くの方々に世界の同時性やアーティストの多様性などを体感していただいた。

②. 「教育普及及びプログラム」の実施

ア. キッズインミュージアム（対象：小中学生）

五感で作品と触れ合うことにより、自己表現の感性を育むためのプログラムを小中学校と連携し、企画・実施した。地中美術館や李禹煥美術館にて、地元の小学生向けプログラム等も実施している。

イ. プライベートツアー（対象：一般）

より鑑賞を深めたい来場者にギャラリーツアーを開催し、ミュージアムスタッフとともに、美術館を体験するプログラムを提供した。

ウ. ナイトプログラム（対象：一般）

地中美術館の一部作品において開催。日没にかけて異なる表情の作品を鑑賞するプログラムを提供した。

エ. 地域コンテンツとの一体化プログラム（対象：一般）

直島町役場スタッフと共同で直島建築ツアーを実施した。直島建築を通じて、直島の町づくりの

思想を伝える機会となった。また、美術施設や地域コンテンツに関連した各種ワークショップや講演会等も実施されている。

オ. アート鑑賞・教育プログラム（対象：一般）

VTS（Visual Thinking Strategy：対話型鑑賞法）を中心に現代アートの鑑賞方法を整理し、教育プログラムとして導入・実施している。鑑賞ツールを整備した小中学校・高校生向け鑑賞プログラムや、社会課題などに視野・思考を広げてもらう社会人向け鑑賞プログラムを用意している。コロナ禍の中、Web 会議形式のオンライン鑑賞教育プログラムも実施している。

③. 「米&食プロジェクト」の実施

直島、豊島において米の栽培を通じ、地域の文化、環境、住民と触れ合うことで地域活性化につながるプログラムを提供した。

④. 国際交流

□海外広報

引き続き、海外の新聞・雑誌・WEB などの広報メディアに取り上げられ、海外のメディア露出としては、15 件（国内を含めた全体の 11%）となっている。

□中国プロジェクト

・中国の CGPI という社会貢献団体の参加メンバーが、山東省淄博市沂源县桃花島にて「アートによる農村再生」プロジェクトを推進している。当年度も、引き続き、参加メンバーによる桃花島“家プロジェクト”が進行。コロナ禍の中ではあるが、第 2 号・塩田千春作品「編む・織る・繋ぐ・結ぶ」、第 3 号・潘逸舟作品「よりそう家」が相次いで完成した。このプロジェクトは中国側が事業主体であり、当財団は、直島メソッドとその背景にある基本理念の普及という立場でこのプロジェクトに協力している。

□その他の国際交流

- ・令和 3 年 9 月 16 日～10 月 21 日、山東財経大学のオンライン教育プログラムとして、理事長講演「文化や芸術により、地域が変革する」（全 5 回）が実施され、延べ 500 人が受講した。
- ・上記の他にも、主に中国向け当財団理事長によるオンライン講演を多数実施。11 月：チャイナ・チャリティ・シンポジウム、12 月：中国発展フォーラム（CDF）、12 月：中国光華科技基金会（教育基金 10 周年）など。各講演では、ベネッセアートサイト直島及び中国農村の事例紹介が行われるとともに、当財団活動の基本理念の普及が進められた。
- ・国内ではあるが国際交流視点では、令和 3 年 11 月 11 日、慶応大学 SFC 向けオンライン教育プログラムとして、理事長講演「アートによる地域再生 ～ベネッセアートサイト直島と中国の事例～」が実施され、約 800 人が受講した。

⑤. 瀬戸内国際芸術祭の共催

□瀬戸内国際芸術祭 2022 の開幕に向けて準備を進めた。

名称：瀬戸内国際芸術祭 2022（Setouchi Triennale 2022）

テーマ：「海の復権」

開催期間：春：2022 年 4 月 14 日（木）～ 5 月 18 日（水） 35 日間

夏：2022年8月5日（金）～9月4日（日） 31日間

秋：2022年9月29日（木）～11月6日（日） 39日間 の 会期総計 105日間

会場：直島、犬島、豊島、男木島、女木島、小豆島、大島、高松港周辺、宇野港周辺

（春）沙弥島、（秋）本島、粟島、伊吹島、高見島

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

会長：浜田 恵造（香川県知事）

名誉会長：真鍋 武紀（前香川県知事）

総合プロデューサー：福武 総一郎

総合ディレクター：北川 フラム

□瀬戸内国際芸術祭 2022 の美術作品の展示他

瀬戸内国際芸術祭 2022 の美術作品として、瀬戸内「 」資料館などの作品展示準備を行った。令和3年度における芸術祭関連支出は総額で 130,184 千円（予算は 140,438 千円）となった。そのうち、瀬戸内国際芸術祭実行委員会への負担金の支払い 99,750 千円（2 か年で 199,500 千円のうちの半分）を実行した。芸術祭関連の支出明細は、次のとおりとなっている。

瀬戸内国際芸術祭2022 芸術祭関連支出 令和3年度実績

（単位：千円）

		令和3年度		
		予算	実績	予算差
直島	瀬戸内「 」資料館 展示	4,218	4,706	488
豊島	針工場 第2期展示	19,831	9,902	-9,929
	八百万ラボ 第2期作品展開	1,662	1,974	312
	豊島横尾館 リフトコンテンツ充実施策	0	15	15
犬島	犬島PJ 構想展	1,925	1,100	-825
	作品リモート制作企画	317	543	226
小豆島	福武ハウス イベント他	7,134	6,722	-412
	アジアアートプラットフォーム企画	0	169	169
その他	活動費	2,278	2,056	-222
	アート芸術祭 小計	37,365	27,189	-10,177
	負担金	99,750	99,750	0
	広報活動費	3,323	3,245	-78
	広報芸術祭 小計	103,073	102,995	-78
	総合計	140,438	130,184	-10,255

C 美術に関する情報提供並びに出版事業

① 情報提供事業

活動全体をカバーするホームページ「ベネッセアートサイト直島」を(株)ベネッセホールディングスと共同で運営中。アート施設の紹介に加え、ベネッセアートサイト直島の活動や、瀬戸内の島々で日々起こる出来事、瀬戸内国際芸術祭 2022 の開催に向けた準備の状況等を紹介している。また、ソーシャルメディアを活用し、ツイッター、フェイスブック、インスタグラム等での情報発信も継続している。

② 機関誌及び美術に関する出版物の刊行

ア. 広報誌の刊行

当年度は、年 4 回、以下の広報誌を発行した。

令和 3 年 7 月号：多様な価値観がつながるプラットフォーム

令和 3 年 10 月号：ベネッセアートサイト直島の鑑賞プログラム

令和 4 年 1 月号：クリスチャン・ボルタンスキー追悼

令和 4 年 4 月号：響き合う、風景とアート

ベネッセアートサイト直島の活動全体を捉え、活動のコンセプト、メッセージ等を国内、国外に向けて発信している。

イ. カタログ・ハンドブック等の刊行

地中美術館、豊島美術館など、主要施設のカタログ・ハンドブック等を刊行している。施設を訪れる方が感動を持ち帰ることができる刊行物としている。

D 地域振興助成

① アートによる地域振興助成

ア. 事業助成

令和 3 年度の事業助成については、次の助成を実施した。

公募助成：12 件、20,781 千円

なお、選考委員会は、一次選考はリアル会議で、二次選考（プレゼン選考）は Web 会議にて実施された。また、令和 4 年度に向けての募集・選考活動の準備も進めている。

アートによる地域振興助成の情報共有会を、次のとおり実施した。

実施日：令和 3 年 12 月 4 日

参加助成先：29 団体

内容：コロナの影響により、Web 会議での情報共有会を開催した。助成先各団体を 4 グループに分け、前半は各グループからの活動事例の発表。後半は分科会形式で「コロナ禍の中で対応している事、課題、今後チャレンジしたい事」について議論し、まとめの発表。各選考委員からのご意見もあり有益な情報共有会となった。

助成先における活動未実施と助成金の返金

コロナ禍の中、計画されていた活動が実施できず、アート事業助成 1 件の助成先から 31 千円の助成金の返金があった。

イ. 研修助成

助成：3件、2,000千円（非公募）

アートによる地域振興を学びたい方へ研修助成を実施。なお、選考委員会は、コロナ禍の中、Web会議にて実施された。また、令和4年度に向けての募集・選考の準備も進めている。

助成先における活動未実施と助成金の返金

コロナ禍の中、計画されていた活動が実施できず、研修助成3件の助成先から668千円の助成金の返金があった。

②. 瀬戸内海地域振興助成

令和3年度の瀬戸内海地域振興助成については、次の助成を実施した。

公募助成：10件、6,219千円

なお、選考委員会は、一次選考はリアル会議で、二次選考はリアルとWeb会議のハイブリッド形式にて実施された。令和4年度に向けての募集・選考活動の準備も進めている。

瀬戸内海地域振興助成の情報共有会を、次のとおり実施した。

実施日：令和3年8月22日

参加助成先：17団体（34名）

内容：コロナの影響により、Web会議での情報共有会となった。代表4団体からの事例発表のあと、小グループによる交流会を実施。各グループからの討議内容の発表及び選考委員による講評もいただいた。コロナ禍の中での地域振興についての意見交換を通じて、ノウハウやネットワークの獲得につながったものと思われる。

E 地域活動の共催支援

地域の人々が主体的に地方公共団体等と協働し地域において自主的に実施する創造的で文化的な表現活動及び地域間交流に対し、自らが関与（共催支援）して事業を行った。

令和3年度共催支援（3件）

瀬戸内国際芸術祭2022の開催準備

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。

大地の芸術祭（新潟県越後妻有）

総合プロデューサーとして当財団理事長が、総合ディレクターとして当財団常任理事が就任し、積極的に活動を支援した。また、共催助成として、助成金10,000千円の支払いを実施した。

豊島唐櫃 棚田プロジェクト（香川県豊島）

豊島「食プロジェクト」推進協議会主催の活動を積極的に支援した。また、共催助成として、助成金3,000千円の支払いを実施した。

F 地域振興のためのファンドレイジング

①. ふるさと納税ファンドレイジングサイトの運営

「ふるさと納税」寄付制度は地域振興に非常に大きな意味を持つと考えられることから、これを支

援し紹介するファンドレイジングサイトを運営している。

② . 豊島「食プロジェクト」に関するファンドレイジング

豊島唐櫃 棚田プロジェクトへの共催の一環として、棚田の維持管理のためのファンドレイジングを推進している。また、豊島棚田収穫祭にてファンドレイジングにつなげるためのリスト収集を行っている。

③ . The Naoshima Plan「水」プロジェクトに関するファンドレイジング

The Naoshima Plan「水」は、来島者と地域の方々との交流を目指した施設であるが、募金箱を設置することで、ファンドレイジングを進めている。募金は施設の維持管理のために活用されている。

G 管理部門の事業報告

- ① . コロナ禍の中で大幅減収に対応するため、基本財産の一部取崩（240 百万円）を実行した。
- ② . 美術館事業積立金の運用開始と各種積立金および財政基盤の整備を継続した。
- ③ . 瀬戸内国際芸術祭 2022 の準備年にあたりプロジェクト毎の支出管理の徹底に努めた。
- ④ . 経費精算システム導入により生産性の向上と業務の効率化に努めた。
- ⑤ . 人材育成委員会を継続開催し、人材の採用、育成の強化に努めた。
- ⑥ . 財団内部のコミュニケーション活性化を図るため、ポータルサイトを導入した。
- ⑦ . 直島における美術館事業スタッフ寮建設を人事面から支援した。
- ⑧ . 就業規則等改訂による人事政策推進とコンプライアンス強化を実施した。
- ⑨ . 理事会・評議員会の Web 会議による開催を支える定款変更を行った。
- ⑩ . ベネッセアートサイト直島内各組織が一体となった会議体の運営を実行した。

H 附属明細書

附属明細書に記載する事項なし。

II. 処務の概要

1) 役員等に関する事項

(令和4年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	就任(重任) 年月日	担当職務	報酬	現職	備考
代表理事 (理事長)	非常勤	福武總一郎	R2.6.20	業務の総括 地中美術館長	有	(株)ベネッセホールディングス 名誉顧問	
代表理事 (副理事長)	非常勤	福武 英明	R2.6.20	理事長代理	有	(株)ベネッセホールディングス 取締役	
業務執行理事 (常任理事)	非常勤	北川フラム	R2.6.20	地中美術館 副館長	有	(株)アートフロントギャラリー 代表取締役会長	
理事	非常勤	安藤 忠雄	R2.6.20		有	(株)安藤忠雄建築研究所 代表取締役	
理事	常勤	金代健次郎	R2.6.20		有	公益財団法人福武財団 前事務局長	
理事	非常勤	樺山 紘一	R2.6.20		有	印刷博物館 顧問	
理事	非常勤	小林 眞一	R2.6.20		有	直島町長	
理事	非常勤	鈴木 寛	R2.6.20		有	東京大学公共政策大学院 教授	
理事	非常勤	丹呉 泰健	R2.6.20		有	日本たばこ産業(株) 社友	
理事	非常勤	西村 洋	R2.6.20		有	(株)ベネッセホールディングス 執行役員	
理事	非常勤	真鍋 武紀	R2.6.20		有	前香川県知事	
監事	非常勤	尾尻 哲洋	R2.6.20		有	辻・本郷税理士法人 特別顧問 税理士	
監事	非常勤	和田 朝治	R2.6.20		有	和田・小田弁護士事務所 代表 弁護士	

※令和4年3月31日現在の評議員数は9名、選考委員数は10名です。

2) 職員に関する事項

(令和4年3月31日現在)

職名	常勤 非常勤	氏名	採用(就任) 年月日	担当職務	報酬	備考
事務局長	常勤	宇野 恵信	H27.9.1	経営企画	有	助成部長兼務
本部長	常勤	脇 清美	H29.8.1	アドミニ	有	アーカイブ部長兼務
本部長	常勤	岩下 洋子	H30.7.1	美術館運営	有	運営部長、豊島・犬島運営部長兼務
部長	常勤	大内 航	R2.6.20	アート	有	マーケ・プロモ部長兼務
部長	常勤	竹之内千夏	R2.6.20	美術館運営	有	直島運営部長、地域支援部長兼務
部長	常勤	石井 一夫	H23.1.1	経理	有	
部長	常勤	山根 孝規	H16.6.1	総務・人事	有	
部長	非常勤	松浦 俊明	H26.9.1	財務	有	

※令和4年3月31日現在の職員数は71名、契約職員数は8名、アルバイト・パートは59名です。

3) 会議等に関する事項

①. 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 3 年 5 月 25 日	<input type="checkbox"/> 第 62 回理事会（決議の省略） 令和 2 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源振替承認の件 令和 2 年度事業報告・決算報告承認の件 第 29 回定時評議員会を令和 3 年 6 月 12 日に WEB 会議にて開催ことを承認する件 令和 3 年 6 月 12 日の第 63 回理事会を WEB 会議にて開催することを承認する件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 3 年 6 月 12 日	<input type="checkbox"/> 第 63 回理事会 議決権行使承認の件（3 分の 2 以上の特別議決） 令和 2 年度事業報告・決算報告の内閣府への電子申請承認の件 令和 3 年度修正収支予算承認の件 令和 3 年度関連当事者との取引承認の件 地域振興助成に係る募集要項承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 事務局より報告
令和 3 年 11 月 25 日	<input type="checkbox"/> 第 64 回理事会（決議の省略） 美術作品 1 点購入の件 福武家信託財産からの寄付金受入の件	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決
令和 4 年 3 月 5 日	<input type="checkbox"/> 第 65 回理事会 規程類改定承認の件（就業規則、アルバイト就業規則、育児・介護休業規程、犬島精錬所等入館規則） 美術作品貸出規程他承認の件 ベネッセハウスミュージアムへの財団作品展示スキーム変更承認の件 新美術館建設に係る財源変更及びスケジュール変更承認の件 地域振興助成及び地域活動の共催支援（自主・共催助成）に係る助成先承認の件 令和 3 年度第 2 次修正予算承認の件 地域振興助成に係る選考委員選任の件 福武家信託財産からの寄付金受入承認の件（関連当事者案件） 令和 4 年度事業計画・収支予算承認の件 令和 4 年度「資金調達及び設備投資の見込みについて」承認の件 令和 4 年度事業計画・収支予算等について内閣への電子申請承認の件 代表理事、業務執行理事の職務執行状況報告 岡大国吉寄付講座活動状況報告 瀬戸内国際芸術祭 2022 の準備状況報告	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 事務局より報告 事務局より報告 事務局より報告

②. 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
令和 3 年 6 月 12 日	<input type="checkbox"/> 第 29 回定時評議員会 令和 2 年度における法人会計から公益目的事業会計への財源振替承認の件 令和 2 年度事業報告・決算報告承認の件 定款変更承認の件（3 分の 2 以上の特別議決） 基本財産取崩枠設定（令和 3 年度分）承認の件（3 分の 2 以上の特別議決）	全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決 全会一致で承認可決

4) 許可、認定、承認、証明等に関する事項

該当なし

5) 契約に関する事項

契約年月日	契約相手先	契約の概要
令和 3 年 6 月 13 日	(株)あさひ印刷	助成部門オンライン申請システム
令和 3 年 7 月 9 日	(株)ラスク	新経費精算システム導入
令和 3 年 10 月 2 日	(株)鹿島建設	新美術館構造・設備基本設計
令和 3 年 11 月 30 日	(株)あらい建設	下津寮施工

6) 寄附金に関する事項

寄付年月日	相手先	寄付目的	寄付金額（円）	備考
令和 3 年 4 月 1 日	福武 美津子	施設運営	63,480,000	土地建物現物
令和 3 年 12 月 24 日	福武家の信託財産	施設運営	571,856,050	作品購入資金
令和 3 年 5 月～12 月	一般来島者	施設維持	23,412	「水」募金収入

7) 行政庁（内閣府）からの指示事項

該当なし

8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

9) その他重要事項

該当なし

公益財団法人 福武財団

令和3年度決算報告書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

I. 貸借対照表

II. 正味財産増減計算書

III. 正味財産増減計算書内訳表

IV. 財務諸表に対する注記

V. 附属明細書

VI. 財産目録

VII. 予算対比正味財産増減計算書

VIII. 予算対比収支計算書（収支ベース）

IX. 島別施設別収支計算書 【参考用】

※ 「監査報告書」

I. 貸借対照表 (令和4年3月31日現在)

I - 1) 貸借対照表

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	136,177,299	126,240,640	9,936,659
売掛金	29,647,941	21,466,884	8,181,057
未収金	1,202,273	1,499,017	△ 296,744
棚卸資産	92,699,895	90,747,153	1,952,742
前払金	3,153,106	1,977,899	1,175,207
前払費用	3,907,273	4,207,828	△ 300,555
立替金	3,320,913	2,219,227	1,101,686
仮払金	107,191	565,467	△ 458,276
流動資産合計	270,215,891	248,924,115	21,291,776
2. 固定資産			
(1)基本財産			
土地	22,800,000	22,800,000	0
美術品	17,358,830,475	17,358,830,475	0
普通預金	67,713,567	236,327,348	△ 168,613,781
投資有価証券	19,210,242,349	19,771,738,125	△ 561,495,776
基本財産合計	36,659,586,391	37,389,695,948	△ 730,109,557
(2)特定資産			
芸術祭事業積立資産	262,963,724	351,880,287	△ 88,916,563
助成事業積立資産	74,360,845	74,359,522	1,323
修繕積立資産	131,138,743	244,773,920	△ 113,635,177
美術館事業積立資産	768,750,000	240,000,000	528,750,000
事務所建設積立資産	30,000,000	30,000,000	0
特定資産合計	1,267,213,312	941,013,729	326,199,583
(3)その他の固定資産			
土地	485,040,892	482,053,839	2,987,053
建物	3,022,833,717	3,092,431,283	△ 69,597,566
建設附属設備	145,593,240	162,972,813	△ 17,379,573
構築物	191,373,791	202,453,970	△ 11,080,179
機械装置	1,343,970	2,049,574	△ 705,604
車両運搬具	34,544	34,544	0
船舶	1	1	0
什器備品	20,036,648	21,109,448	△ 1,072,800
美術品	1,862,855,043	1,862,855,043	0
ソフトウエア	0	255,383	△ 255,383
建設仮勘定	78,234,087	37,391,800	40,842,287
敷金	12,210,000	12,210,000	0
その他投資等	221,810	221,810	0
その他の固定資産合計	5,819,777,743	5,876,039,508	△ 56,261,765
固定資産合計	43,746,577,446	44,206,749,185	△ 460,171,739
資産合計	44,016,793,337	44,455,673,300	△ 438,879,963
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	8,822,507	6,817,116	2,005,391
未払金	52,569,651	55,499,318	△ 2,929,667
未払費用	37,048,306	36,952,752	95,554
預り金	7,495,450	6,240,042	1,255,408
前受金	1,196,324	693,314	503,010
未払消費税等	20,143,800	3,738,900	16,404,900
流動負債合計	127,276,038	109,941,442	17,334,596
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	127,276,038	109,941,442	17,334,596
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	37,896,799,703	38,300,709,677	△ 403,909,974
(うち基本財産への充当額)	(36,659,586,391)	(37,389,695,948)	(△ 730,109,557)
(うち特定資産への充当額)	(1,237,213,312)	(911,013,729)	(326,199,583)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	5,992,717,596	6,045,022,181	△ 52,304,585
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
正味財産合計	43,889,517,299	44,345,731,858	△ 456,214,559
負債及び正味財産合計	44,016,793,337	44,455,673,300	△ 438,879,963

II. 正味財産増減計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

II - 1) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[353,867,981]	[330,467,825]	[23,400,156]
基本財産受取利息振替額	49,187,981	50,338,965	△ 1,150,984
基本財産受取配当金	108,000,000	108,000,000	0
基本財産受取配当金振替額	196,680,000	172,128,860	24,551,140
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[335,690,378]	[288,457,598]	[47,232,780]
④. 受取補助金	[8,428,959]	[16,848,066]	[△ 8,419,107]
⑤. 受取寄附金	[677,022,177]	[415,286,200]	[261,735,977]
受取寄附金	63,503,412	64,552,861	△ 1,049,449
受取寄附金振替額	613,518,765	350,733,339	262,785,426
⑥. 雑収益	[2,085,592]	[700,078]	[1,385,514]
受取利息	1,651	1,565	86
雑収益	2,083,941	698,513	1,385,428
経常収益計	1,377,095,087	1,051,759,767	325,335,320
(2) 経常費用			
①. 事業費	[1,310,545,401]	[1,061,271,422]	[249,273,979]
期首棚卸高	90,747,153	85,766,739	4,980,414
仕入高	54,463,053	47,026,718	7,436,335
期末棚卸高	△ 92,699,895	△ 90,747,153	△ 1,952,742
給与手当	299,154,469	302,809,453	△ 3,654,984
臨時雇賃金	70,530,506	63,923,255	6,607,251
退職給付費用	8,113,781	5,917,731	2,196,050
福利厚生費	54,532,431	55,411,346	△ 878,915
旅費交通費	10,632,447	6,119,793	4,512,654
通信運搬費	15,949,978	16,252,537	△ 302,559
什器備品費	1,533,752	1,175,316	358,436
消耗品費	13,525,267	9,507,255	4,018,012
減価償却費	174,481,284	171,836,641	2,644,643
修繕費	114,267,008	80,310,072	33,956,936
印刷製本費	3,677,556	1,774,411	1,903,145
燃料費	2,238,346	1,830,969	407,377
光熱水料費	25,853,795	23,852,582	2,001,213
賃借料	33,002,265	33,470,241	△ 467,976
保険料	9,812,983	10,354,918	△ 541,935
諸謝金	18,798,725	18,645,801	152,924
租税公課	33,147,069	18,957,139	14,189,930
負担金	215,024,500	0	215,024,500
助成費	41,300,669	36,221,752	5,078,917
寄附金	5,000,000	65,042,667	△ 60,042,667
宣伝広告費	29,102,997	27,572,398	1,530,599
会議費	6,863,731	7,364,534	△ 500,803
交際費	514,774	605,212	△ 90,438
委託費	61,302,833	51,732,616	9,570,217
雑費	9,673,924	8,536,479	1,137,445

Ⅱ - 2) 正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
②. 管理費	[118,854,271]	[116,489,492]	[2,364,779]
役員報酬	850,000	800,000	50,000
給与手当	59,693,682	56,191,815	3,501,867
臨時雇賃金	2,352,336	2,355,445	△ 3,109
役員退職給付費用	0	500,000	△ 500,000
退職給付費用	1,261,417	1,031,747	229,670
福利厚生費	10,492,827	10,140,291	352,536
旅費交通費	1,578,230	2,502,668	△ 924,438
通信運搬費	6,207,556	4,911,870	1,295,686
消耗品費	875,703	1,398,172	△ 522,469
減価償却費	7,308,024	7,675,844	△ 367,820
修繕費	1,516,318	1,466,294	50,024
印刷製本費	822,966	896,344	△ 73,378
燃料費	166,171	151,756	14,415
光熱水料費	1,726,925	1,599,897	127,028
賃借料	4,538,074	3,940,528	597,546
保険料	262,352	352,832	△ 90,480
諸謝金	4,203,870	4,073,854	130,016
租税公課	139,076	829,854	△ 690,778
会議費	2,453,807	4,745,756	△ 2,291,949
交際費	650,592	1,097,694	△ 447,102
委託費	10,508,164	8,611,892	1,896,272
雑費	1,246,181	1,214,939	31,242
經常費用計	1,429,399,672	1,177,760,914	251,638,758
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 52,304,585	△ 126,001,147	73,696,562
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 52,304,585	△ 126,001,147	73,696,562
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	0	337,117	△ 337,117
經常外費用計	0	337,117	△ 337,117
当期經常外増減額	0	△ 337,117	337,117
当期一般正味財産増減額	△ 52,304,585	△ 126,338,264	74,033,679
一般正味財産期首残高	6,045,022,181	6,171,360,445	△ 126,338,264
一般正味財産期末残高	5,992,717,596	6,045,022,181	△ 52,304,585
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	△ 495,291,705	△ 2,936,756,506	2,441,464,801
特定資産評価損益等	44,565,072	351,338	44,213,734
基本財産受取利息	54,370,129	54,818,927	△ 448,798
基本財産受取配当金	279,900,000	285,180,000	△ 5,280,000
特定資産受取利息	77,226	51,510	25,716
受取寄付金	571,856,050	214,768,860	357,087,190
一般正味財産への振替額	△ 859,386,746	△ 573,201,164	△ 286,185,582
当期指定正味財産増減額	△ 403,909,974	△ 2,954,787,035	2,550,877,061
指定正味財産期首残高	38,300,709,677	41,255,496,712	△ 2,954,787,035
指定正味財産期末残高	37,896,799,703	38,300,709,677	△ 403,909,974
Ⅲ 正味財産期末残高	43,889,517,299	44,345,731,858	△ 456,214,559

Ⅲ. 正味財産増減計算書内訳表（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

Ⅲ-1) 正味財産増減計算書内訳表

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	小計			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
①. 基本財産運用益	[216,687,981]	[216,687,981]	[137,180,000]	[0]	[353,867,981]
基本財産受取利息振替額	49,187,981	49,187,981	0	0	49,187,981
基本財産受取配当金	0	0	108,000,000	0	108,000,000
基本財産受取配当金振替額	167,500,000	167,500,000	29,180,000	0	196,680,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
③. 事業収益	[335,690,378]	[335,690,378]	[0]	[0]	[335,690,378]
④. 受取補助金	[8,428,959]	[8,428,959]	[0]	[0]	[8,428,959]
⑤. 受取寄附金	[677,022,177]	[677,022,177]	[0]	[0]	[677,022,177]
受取寄附金	63,503,412	63,503,412	0	0	63,503,412
受取寄附金振替額	613,518,765	613,518,765	0	0	613,518,765
⑥. 雑収益	[2,085,592]	[2,085,592]	[0]	[0]	[2,085,592]
受取利息	1,651	1,651	0	0	1,651
雑収益	2,083,941	2,083,941	0	0	2,083,941
経常収益計	1,239,915,087	1,239,915,087	137,180,000	0	1,377,095,087
(2) 経常費用					
①. 事業費	[1,310,545,401]	[1,310,545,401]		[0]	[1,310,545,401]
期首棚卸高	90,747,153	90,747,153		0	90,747,153
仕入高	54,463,053	54,463,053		0	54,463,053
期末棚卸高	△ 92,699,895	△ 92,699,895		0	△ 92,699,895
給与手当	299,154,469	299,154,469		0	299,154,469
臨時雇賃金	70,530,506	70,530,506		0	70,530,506
退職給付費用	8,113,781	8,113,781		0	8,113,781
福利厚生費	54,532,431	54,532,431		0	54,532,431
旅費交通費	10,632,447	10,632,447		0	10,632,447
通信運搬費	15,949,978	15,949,978		0	15,949,978
什器備品費	1,533,752	1,533,752		0	1,533,752
消耗品費	13,525,267	13,525,267		0	13,525,267
減価償却費	174,481,284	174,481,284		0	174,481,284
修繕費	114,267,008	114,267,008		0	114,267,008
印刷製本費	3,677,556	3,677,556		0	3,677,556
燃料費	2,238,346	2,238,346		0	2,238,346
光熱水料費	25,853,795	25,853,795		0	25,853,795
賃借料	33,002,265	33,002,265		0	33,002,265
保険料	9,812,983	9,812,983		0	9,812,983
諸謝金	18,798,725	18,798,725		0	18,798,725
租税公課	33,147,069	33,147,069		0	33,147,069
負担金	215,024,500	215,024,500		0	215,024,500
助成費	41,300,669	41,300,669		0	41,300,669
寄附金	5,000,000	5,000,000		0	5,000,000
宣伝広告費	29,102,997	29,102,997		0	29,102,997
会議費	6,863,731	6,863,731		0	6,863,731
交際費	514,774	514,774		0	514,774
委託費	61,302,833	61,302,833		0	61,302,833
雑費	9,673,924	9,673,924		0	9,673,924

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1	小計			
②. 管理費			[118,854,271]	[0]	[118,854,271]
役員報酬			850,000	0	850,000
給与手当			59,693,682	0	59,693,682
臨時雇賃金			2,352,336	0	2,352,336
退職給付費用			1,261,417	0	1,261,417
福利厚生費			10,492,827	0	10,492,827
旅費交通費			1,578,230	0	1,578,230
通信運搬費			6,207,556	0	6,207,556
消耗品費			875,703	0	875,703
減価償却費			7,308,024	0	7,308,024
修繕費			1,516,318	0	1,516,318
印刷製本費			822,966	0	822,966
燃料費			166,171	0	166,171
光熱水料費			1,726,925	0	1,726,925
賃借料			4,538,074	0	4,538,074
保険料			262,352	0	262,352
諸謝金			4,203,870	0	4,203,870
租税公課			139,076	0	139,076
会議費			2,453,807	0	2,453,807
交際費			650,592	0	650,592
委託費			10,508,164	0	10,508,164
雑費			1,246,181	0	1,246,181
經常費用計	1,310,545,401	1,310,545,401	118,854,271	0	1,429,399,672
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 70,630,314	△ 70,630,314	18,325,729	0	△ 52,304,585
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期經常増減額	△ 70,630,314	△ 70,630,314	18,325,729	0	△ 52,304,585
2. 經常外増減の部					
(1) 經常外収益	0	0	0	0	0
經常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 經常外費用					
有価証券売却損	0	0	0	0	0
固定資産除却損	0	0	0	0	0
經常外費用計	0	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 70,630,314	△ 70,630,314	18,325,729	0	△ 52,304,585
他会計振替額	18,325,729	18,325,729	△ 18,325,729	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 52,304,585	△ 52,304,585	0	0	△ 52,304,585
一般正味財産期首残高	5,800,484,124	5,800,484,124	244,538,057	0	6,045,022,181
一般正味財産期末残高	5,748,179,539	5,748,179,539	244,538,057	0	5,992,717,596
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産評価損益等	△ 273,060,105	△ 273,060,105	△ 222,231,600	0	△ 495,291,705
特定資産評価損益等	44,565,072	44,565,072	0	0	44,565,072
基本財産受取利息	54,370,129	54,370,129	0	0	54,370,129
基本財産受取配当金	250,720,000	250,720,000	29,180,000	0	279,900,000
特定資産受取利息	77,226	77,226	0	0	77,226
受取寄付金	571,856,050	571,856,050	0	0	571,856,050
一般正味財産への振替額	△ 830,206,746	△ 830,206,746	△ 29,180,000	0	△ 859,386,746
当期指定正味財産増減額	△ 181,678,374	△ 181,678,374	△ 222,231,600	0	△ 403,909,974
指定正味財産期首残高	31,913,608,877	31,913,608,877	6,387,100,800	0	38,300,709,677
指定正味財産期末残高	31,731,930,503	31,731,930,503	6,164,869,200	0	37,896,799,703
Ⅲ 正味財産期末残高	37,480,110,042	37,480,110,042	6,409,407,257	0	43,889,517,299

IV. 財務諸表に対する注記

1) 継続組織の前提に関する注記

該当なし

2) 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 … 償却原価法（定額法）によっている。

その他の有価証券

市場価格のあるもの … 期末日の市場価格に基づく時価法（売上原価は移動平均法により算定）によっている。

市場価格のないもの … 移動平均法による原価法によっている。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用している。

(3) 固定資産の減価償却方法

建物 … 定額法によっている。

建物附属設備 … 定率法によっている。

構築物 … 定率法によっている。

機械装置 … 定率法によっている。

車両運搬具 … 定率法によっている。

船舶 … 定率法によっている。

什器備品 … 定率法によっている。

ソフトウェア（自社利用）… 法人内における利用可能期間（主として5年）に基づく定額法によっている。

(4) 外貨建預金の評価方法

決算日の為替相場に基づく時価法によっている。

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	22,800,000	0	0	22,800,000
美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
普通預金	236,327,348	71,386,219	240,000,000	67,713,567
投資有価証券	19,771,738,125	151,628,858	713,124,634	19,210,242,349
小計	37,389,695,948	223,015,077	953,124,634	36,659,586,391
特定資産				
芸術祭事業積立資産	351,880,287	41,267,025	130,183,588	262,963,724
助成事業積立資産	74,359,522	1,323	0	74,360,845
修繕積立資産	244,773,920	46,500,000	160,135,177	131,138,743
美術館事業積立資産	240,000,000	611,950,000	83,200,000	768,750,000
事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
小計	941,013,729	699,718,348	373,518,765	1,267,213,312
合 計	38,330,709,677	922,733,425	1,326,643,399	37,926,799,703

4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対する額)
基本財産				
土地	22,800,000	(22,800,000)	(0)	-
美術品	17,358,830,475	(17,358,830,475)	(0)	-
普通預金	67,713,567	(67,713,567)	(0)	-
投資有価証券	19,210,242,349	(19,210,242,349)	(0)	-
小計	36,659,586,391	(36,659,586,391)	(0)	-
特定資産				
芸術祭事業積立資産	262,963,724	(262,963,724)	(0)	-
助成事業積立資産	74,360,845	(74,360,845)	(0)	-
修繕積立資産	131,138,743	(131,138,743)	(0)	-
美術館事業積立資産	768,750,000	(768,750,000)	(0)	-
事務所建設積立資産	30,000,000	(0)	(30,000,000)	-
小計	1,267,213,312	(1,237,213,312)	(30,000,000)	-
合 計	37,926,799,703	(37,896,799,703)	(30,000,000)	-

5) 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	4,433,403,325	1,410,569,608	3,022,833,717
建物付属設備	524,184,820	378,591,580	145,593,240
構築物	696,027,260	504,653,469	191,373,791
機械装置	19,909,237	18,565,267	1,343,970
車両運搬具	4,132,318	4,097,774	34,544
船舶	3,940,000	3,939,999	1
什器備品	135,513,854	115,477,206	20,036,648
ソフトウェア	17,051,276	17,051,276	0
合 計	5,834,162,090	2,452,946,179	3,381,215,911

6) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 訳	当期末残高
経常収益への振替額	
基本財産受取利息	49,187,981
基本財産受取配当金	196,680,000
受取寄附金	613,518,765
合 計	859,386,746

7) 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

属性	対象者	法人等の名称	関係内容		住所	資産総額 (単位：百万円)	事業の内容	議決権の 所有割合	取引の内容	取引金額 (単位：円)	科目	期末残高 (単位：円)							
			役員の 兼務等	事業上 の関係															
代表理事 理事長	福武 総一郎	(株) ネットホールディングス	名誉顧問	-	岡山市北区南方3-7-17	540,598	教育 出版他	8.0%	ネットハウス他 利用料	2,895,511	未払金	109,029							
									ネットミュージアム 賃借料	6,535,047	未払金	94,437							
									李美術館地代	2,393,844	前払費用	199,487							
									地中マイクセンター 地代	102,000	前払費用	17,000							
	代表理事 副理事長		福武 英明						取締役	-	-	-	-	-	-	関連書籍 仕入他	14,300	買掛金	0
																グループイントラ等使 用料	6,563,095	未払金	544,616
																鑑賞料収入 商品他販売収入	17,893,654	売掛金	3,677,692
																地中マイク他 賃料収入	8,256,888	前受金	688,074
業 務 執 行 事	北川 フラム	特定非営利 活動法人 瀬戸内こえ びネットワーク	代表理事	-	香川県 高松市ウ ルトラ1-1	-	瀬戸内国 際芸術祭 活動支援	-	アートコレクション報酬	10,185,180	-	0							
									施設修繕費用	180,106	未払金	0							
									ガイド料	41,020	未払金	0							
									会議等食事代	16,500	未払金	16,500							
									鑑賞料収入	60,750	売掛金	0							
理事	鈴木寛	(有)環境創造 研究所	議決権の 全数を有 する	-	神戸市垂 水区桃山 台4-5-6	-	コンサルティ ング	-	業務指導料	4,888,800	未払金	407,400							
監 事	尾尻 哲洋	辻・本郷税 理士法人	特 別 顧 問	-	東京都新 宿区西新 宿1-25-1	-	会計税務 サービス	-	業務指導料	1,980,000	-	0							
監 事	和田 朝治	本人	-	-	-	-	弁護士	-	業務指導料	374,000	前払金	88,000							
評議員	福武 美津子	(株)イガラノ	代 表	-	岡山市北 区絵図町 9-40	-	飲食 宿泊業	-	会議等食事代	87,800	未払金	0							
		(株)南方ホールディングス	取締役	-	岡山市北 区南方3 丁目10番 36号	-	不動産 管理業	-	出向者費用	1,337,902	未払費用	112,113							
評議員	笠原 良二	(株)直島文化 村	代表取締 役社長	-	香川県香 川郡直島 町364番 地1	-	宿泊施 設・アート施 設の運営 管理	-	鑑賞料収入	7,233,724	売掛金	851,066							
									商品他販売収入	676,910	売掛金	0							
									美術施設 運営委託等	10,532,571	未払金	855,767							
									出向者費用	17,017,100	未払費用	1,384,032							

8) 公益目的保有財産の明細

公益目的保有財産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
基本財産 土地		32,550 m ² 香川県直島町立石3447-1 22,800,000	公1
基本財産 美術品	直島町立石 地中美術館内 モネ5、タレル3、デマリヤ1 17,358,830,475		公1
基本財産 普通預金		住信SBIネット銀行他 普通預金口座 67,713,567	公1
基本財産 投資有価証券		株式会社 ^パ ソナ ^ル イン ^ク ス株式 5,014,400株 11,267,356,800	公1
基本財産 投資有価証券		公社債、投資信託、 不動産投資証券他 1,778,016,349	公1
その他固定資産 土地		472,695 m ² 直島、豊島、犬島 462,896,646	公1
その他固定資産 美術品		直島、豊島、犬島 李、内藤、大竹、ボルタンスキー作品他 1,701,826,994	公1
その他固定資産 建物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 2,868,451,279	公1
その他固定資産 建物附属設備		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 142,813,791	公1
その他固定資産 構築物		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 191,373,791	公1
その他固定資産 車両運搬具		直島、豊島、犬島他 軽トラック 34,543	公1
その他固定資産 工具・器具・備品		直島、豊島、犬島 地中、李、豊島美、犬島精錬所他 12,596,725	公1
その他固定資産 機械装置		直島、豊島 銭湯、ボルタンスキー他 1,343,970	公1
その他固定資産 建設仮勘定		直島、豊島、犬島 美術施設・美術館員寮他 78,234,087	公1
その他固定資産 敷金		豊島、犬島 美術施設土地敷金他 12,210,000	公1
その他固定資産 その他投資等		直島、犬島 美術館AED保証金他 47,720	公1
合 計	17,358,830,475	18,607,716,262	

注： 公1は、「文化・芸術による地域社会の発展に関する事業」

注： 公益認定後取得不可欠特定財産はありません。

9) その他

(1) 金融商品の状況に関する注記

1. 金融商品に対する取組方針

当法人は、法人運営の財源の大部分を運用益によって賄うため、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ複合金融商品により資産運用する。

当法人が利用するデリバティブ取引は、デリバティブを組み込んだ複合金融商品（仕組債、仕組預金）のみであり、一定の金額を限度としている。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針である。

2. 金融商品の内容及びそのリスク

投資有価証券は、債券、株式、投資信託、デリバティブ取引を組み込んだ債券（仕組債）であり、発行体の信用リスク、市場リスク（金利の変動リスク、為替の変動リスク及び市場価格の変動リスク）にさらされている。

3. 金融商品のリスクに係る管理体制

①資産運用規程に基づく取引

金融商品の取引は、当法人の資産運用規程に基づき行う。

②信用リスクの管理

債券及び仕組債については、発行体の信用情報や時価の状況を定期的に把握し、理事会に報告する。

③市場リスクの管理

株式については、時価を定期的に把握し、理事会に報告する。

投資信託については、関連する市場の動向を把握し、運用状況を理事会に報告する。

V. 附属明細書

1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、次のとおりである。

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	土地	22,800,000	0	0	22,800,000
	美術品	17,358,830,475	0	0	17,358,830,475
	普通預金	236,327,348	71,386,219	240,000,000	67,713,567
	投資有価証券	19,771,738,125	151,628,858	713,124,634	19,210,242,349
	基本財産計	37,389,695,948	223,015,077	953,124,634	36,659,586,391
特定資産	芸術祭事業積立資産	351,880,287	41,267,025	130,183,588	262,963,724
	助成事業積立資産	74,359,522	1,323	0	74,360,845
	修繕積立資産	244,773,920	46,500,000	160,135,177	131,138,743
	美術館事業積立資産	240,000,000	611,950,000	83,200,000	768,750,000
	事務所建設積立資産	30,000,000	0	0	30,000,000
	特定資産計	941,013,729	699,718,348	373,518,765	1,267,213,312

VI-2) 財産目録

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
基本財産	普通預金	中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX1)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	2,906,169
		住信SBIネット銀行 ハイブリッド円 (1XX-XXXXX9)	同上	64,807,398
	投資有価証券	(株)ベネッセホールディングス株式5,014,400株	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	11,267,356,800
		(株)ベネッセホールディングス株式2,743,600株	運用益を管理業務の財源として使用している	6,164,869,200
		公社債 (ソフトバンクG第3回無担保劣後債)	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	48,365,000
		外貨建債券 (アップル豪ドル外貨建債券他15銘柄)	同上	846,926,538
		不動産投資証券 (GLP投資証券他18銘柄)	同上	482,187,200
投資信託他 (MAXIS トピックス上場投信他5銘柄)	同上	400,537,611		
特定資産	芸術祭事業積立資産	普通預金: 中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (芸術祭事業) 実施のため	216,094,660
		USドル外貨普通預金: 中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX8)	同上	46,869,064
	助成事業積立資産	普通預金: 中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX4)	公益目的事業 (助成事業) 実施のため	74,359,401
		豪ドル外貨普通預金: 中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX5)	同上	1,443
		NZドル外貨普通預金: 中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX3)	同上	1
	修繕積立資産	普通預金: 中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (修繕) 実施のため	131,138,743
	美術館事業積立資産	普通預金: 中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	公益目的事業 (美術館事業) 実施のため	156,800,000
		USドル外貨普通預金: 中国銀行／本店営業部 (No.XXXXXX8)	同上	611,950,000
	事務所建設積立資産	普通預金: 中国銀行／富田町支店 (No.XXXXXX3)	管理業務の財源とするため	30,000,000

VI-3) 財産目録

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他の固定資産	土地	犬島精錬所美術館土地 岡山市犬島	公益目的保有財産	485,040,892
		豊島美術館土地 香川県土庄町豊島	462,896,646	
		豊島虹山土地 香川県土庄町豊島		
		The Naoshima Plan「水」土地 香川県香川郡直島町		
		他		
		直島事務局事務所土地 香川県香川郡直島町	管理業務に使用	
	建物	豊島弱ヶ浜土地 香川県土庄町豊島 他	9,000,000	
		地中美術館建物 コンクリート造り	遊休財産として	3,022,833,717
		豊島美術館メイン棟建物 コンクリート造り	2,868,451,279	
		犬島精錬所美術館建物 鉄骨造り		
		李禹煥美術館建物 コンクリート造り		
		他		
	直島事務局事務所建物 5階建ビル	管理業務に使用		
	建物附属設備	直島地中美術館通信照明設備、犬島精錬所浄化槽設備他	153,535,034	
		直島事務局事務所空調設備他	遊休財産として	145,593,240
		直島建物附属設備改修工事他	847,404	
	直島地中美術館通信照明設備、犬島精錬所浄化槽設備他	142,813,791		
	構築物	犬島精錬所外構、豊島美術館外構、李美術館外構他	管理業務に使用	191,373,791
		豊島心臓音のアーカイブ録音装置他	1,119,167	
	機械装置	運搬用車両	遊休財産として	34,544
車両		1,660,282		
船舶	小型船舶	公益目的保有財産	34,544	
	直島作品関連備品、豊島作品関連備品他	34,543		
什器備品	直島事務局事務所オフィス家具他	管理業務に使用	20,036,648	
	李禹煥作品「無限門」他	1		
美術品	大竹伸朗作品「女根」他	管理業務に使用	1,862,855,043	
	内藤礼作品「母型」他	1,701,826,994		
ソフトウエア	他	遊休財産として	161,028,049	
	遊休状態にある美術品	161,028,049		
建設仮勘定	美術館事業管理ソフトウエア	公益目的保有財産	0	
	直島美術施設、直島美術館事業従業員寮建設支出他	78,234,087		
敷金	美術施設土地賃借敷金他	公益目的保有財産	12,210,000	
	美術館AED保証金他	47,720		
その他投資等	電話加入権他	管理業務に使用	221,810	
		174,090		
固定資産合計				43,746,577,446
資産合計				44,016,793,337
(流動負債)				
買掛金	事業費に係る買掛金	8,822,507	8,822,507	
	未払金	事業費及び管理費に係る未払金		52,569,651
	未払費用	事業費及び管理費に係る未払費用		37,048,306
	未払消費税	事業費に係る未払消費税		20,143,800
	預り金	事業費及び管理費に係る預り金		7,495,450
	前受金	事業費に係る前受金		1,196,324
流動負債合計				127,276,038
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				127,276,038
正味財産				43,889,517,299

Ⅶ. 予算対比正味財産増減計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

Ⅶ－１）予算対比正味財産増減計算書

（単位：円）

科 目	予算	決算	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①. 基本財産運用益	[373,095,076]	[353,867,981]	[19,227,095]
基本財産受取利息振替額	49,995,076	49,187,981	807,095
基本財産受取配当金	108,000,000	108,000,000	0
基本財産受取配当金振替額	215,100,000	196,680,000	18,420,000
②. 特定資産運用益	[0]	[0]	[0]
特定資産受取利息	0	0	0
③. 事業収益	[328,640,573]	[335,690,378]	[△ 7,049,805]
④. 受取補助金	[8,428,959]	[8,428,959]	[0]
⑤. 受取寄附金	[1,178,379,109]	[677,022,177]	[501,356,932]
受取寄附金	63,503,412	63,503,412	0
受取寄附金振替額	1,114,875,697	613,518,765	501,356,932
⑥. 雑収益	[1,841,809]	[2,085,592]	[△ 243,783]
受取利息	1,683	1,651	32
雑収益	1,840,126	2,083,941	△ 243,815
経常収益計	1,890,385,526	1,377,095,087	513,290,439
(2) 経常費用			
①. 事業費	[1,297,568,398]	[1,310,545,401]	[△ 12,977,003]
期首棚卸高	90,747,153	90,747,153	0
仕入高	55,207,801	54,463,053	744,748
期末棚卸高	△ 95,432,333	△ 92,699,895	△ 2,732,438
給与手当	301,412,983	299,154,469	2,258,514
臨時雇賃金	71,472,567	70,530,506	942,061
退職給付費用	8,186,343	8,113,781	72,562
福利厚生費	56,690,532	54,532,431	2,158,101
旅費交通費	10,490,610	10,632,447	△ 141,837
通信運搬費	15,468,162	15,949,978	△ 481,816
什器備品費	395,100	1,533,752	△ 1,138,652
消耗品費	14,175,958	13,525,267	650,691
減価償却費	174,132,898	174,481,284	△ 348,386
修繕費	116,785,084	114,267,008	2,518,076
印刷製本費	5,120,509	3,677,556	1,442,953
燃料費	2,236,387	2,238,346	△ 1,959
光熱水料費	24,211,769	25,853,795	△ 1,642,026
賃借料	33,366,346	33,002,265	364,081
保険料	9,747,593	9,812,983	△ 65,390
諸謝金	18,882,397	18,798,725	83,672
租税公課	7,000,124	33,147,069	△ 26,146,945
負担金	216,750,000	215,024,500	1,725,500
助成費	41,200,000	41,300,669	△ 100,669
寄附金	5,000,000	5,000,000	0
宣伝広告費	33,300,962	29,102,997	4,197,965
会議費	8,131,636	6,863,731	1,267,905
交際費	491,052	514,774	△ 23,722
委託費	62,114,451	61,302,833	811,618
雑費	10,282,314	9,673,924	608,390

Ⅶ-2) 予算対比正味財産増減計算書

(単位：円)

科 目	予算	決算	差異
②. 管理費	[121,326,574]	[118,854,271]	[2,472,303]
役員報酬	850,000	850,000	0
給与手当	58,527,528	59,693,682	△ 1,166,154
臨時雇賃金	2,420,246	2,352,336	67,910
退職給付費用	1,328,611	1,261,417	67,194
福利厚生費	10,621,301	10,492,827	128,474
旅費交通費	3,700,860	1,578,230	2,122,630
通信運搬費	6,417,636	6,207,556	210,080
消耗品費	911,184	875,703	35,481
減価償却費	7,308,024	7,308,024	0
修繕費	1,832,528	1,516,318	316,210
印刷製本費	859,895	822,966	36,929
燃料費	230,307	166,171	64,136
光熱水料費	1,683,667	1,726,925	△ 43,258
賃借料	4,409,753	4,538,074	△ 128,321
保険料	538,352	262,352	276,000
諸謝金	3,923,970	4,203,870	△ 279,900
租税公課	185,276	139,076	46,200
会議費	2,569,779	2,453,807	115,972
交際費	713,168	650,592	62,576
委託費	10,920,104	10,508,164	411,940
雑費	1,374,385	1,246,181	128,204
經常費用計	1,418,894,972	1,429,399,672	△ 10,504,700
評価損益等調整前当期經常増減額	471,490,554	△ 52,304,585	523,795,139
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	471,490,554	△ 52,304,585	523,795,139
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
①. 有価証券売却益	0	0	0
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
①. 有価証券売却損	0	0	0
②. 固定資産除却損	0	0	0
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	471,490,554	△ 52,304,585	523,795,139
一般正味財産期首残高	6,045,022,181	6,045,022,181	0
一般正味財産期末残高	6,516,512,735	5,992,717,596	523,795,139
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
基本財産評価損益等	0	△ 495,291,705	495,291,705
特定資産評価損益等	0	44,565,072	△ 44,565,072
基本財産受取利息	53,996,066	54,370,129	△ 374,063
基本財産受取配当金	279,900,000	279,900,000	0
特定資産受取利息	16,189	77,226	△ 61,037
受取寄付金	571,856,050	571,856,050	0
一般正味財産への振替額	△ 1,379,970,773	△ 859,386,746	△ 520,584,027
当期指定正味財産増減額	△ 474,202,468	△ 403,909,974	△ 70,292,494
指定正味財産期首残高	38,300,709,677	38,300,709,677	0
指定正味財産期末残高	37,826,507,209	37,896,799,703	△ 70,292,494
Ⅲ 正味財産期末残高	44,343,019,944	43,889,517,299	453,502,645

Ⅷ. 予算対比収支計算書（収支ベース）（令和3年4月1日～令和4年3月31日）

Ⅷ-1) 予算対比収支計算書（収支ベース）

（単位：円）

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①	基本財産運用収入	441,896,066	442,270,129	△ 374,063	
②	特定資産運用収入	16,189	77,226	△ 61,037	
③	事業収入	328,640,573	335,690,378	△ 7,049,805	来館者数増に伴う事業収入の増加
④	補助金収入	8,428,959	8,428,959	0	
⑤	寄附金収入	635,359,462	635,359,462	0	
⑥	雑収入	1,841,809	2,085,592	△ 243,783	
事業活動収入計		1,416,183,058	1,423,911,746	△ 7,728,688	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出					
	仕入高	55,207,801	54,463,053	744,748	
	給与手当支出	301,412,983	299,154,469	2,258,514	
	臨時雇賃金支出	71,472,567	70,530,506	942,061	
	退職給付支出	8,186,343	8,113,781	72,562	
	福利厚生費支出	56,690,532	54,532,431	2,158,101	
	旅費交通費支出	10,490,610	10,632,447	△ 141,837	
	通信運搬費支出	15,468,162	15,949,978	△ 481,816	
	什器備品費支出	395,100	1,533,752	△ 1,138,652	
	消耗品費支出	14,175,958	13,525,267	650,691	
	修繕費支出	116,785,084	114,267,008	2,518,076	
	印刷製本費支出	5,120,509	3,677,556	1,442,953	
	燃料費支出	2,236,387	2,238,346	△ 1,959	
	光熱水料費支出	24,211,769	25,853,795	△ 1,642,026	
	賃借料支出	33,366,346	33,002,265	364,081	
	保険料支出	9,747,593	9,812,983	△ 65,390	
	諸謝金支出	18,882,397	18,798,725	83,672	
	租税公課支出	7,000,124	33,147,069	△ 26,146,945	大型作品取得未実施他に伴う消費税増加
	支払負担金支出	216,750,000	215,024,500	1,725,500	
	助成費支出	41,200,000	41,300,669	△ 100,669	
	寄附金支出	5,000,000	5,000,000	0	
	宣伝広告費支出	33,300,962	29,102,997	4,197,965	集客活動の一部未実施による
	会議費支出	8,131,636	6,863,731	1,267,905	
	交際費支出	491,052	514,774	△ 23,722	
	委託費支出	62,114,451	61,302,833	811,618	
	雑費支出	10,282,314	9,673,924	608,390	
	小計	1,128,120,680	1,138,016,859	△ 9,896,179	
② 管理費支出					
	仕入高	0	0	0	
	役員報酬支出	850,000	850,000	0	
	給与手当支出	58,527,528	59,693,682	△ 1,166,154	
	臨時雇賃金支出	2,420,246	2,352,336	67,910	
	退職給付支出	1,328,611	1,261,417	67,194	
	福利厚生費支出	10,621,301	10,492,827	128,474	
	旅費交通費支出	3,700,860	1,578,230	2,122,630	経営幹部の出張未実施による
	通信運搬費支出	6,417,636	6,207,556	210,080	
	消耗品費支出	911,184	875,703	35,481	
	修繕費支出	1,832,528	1,516,318	316,210	
	印刷製本費支出	859,895	822,966	36,929	
	燃料費支出	230,307	166,171	64,136	
	光熱水料費支出	1,683,667	1,726,925	△ 43,258	
	賃借料支出	4,409,753	4,538,074	△ 128,321	
	保険料支出	538,352	262,352	276,000	
	諸謝金支出	3,923,970	4,203,870	△ 279,900	
	租税公課支出	185,276	139,076	46,200	
	会議費支出	2,569,779	2,453,807	115,972	
	交際費支出	713,168	650,592	62,576	
	委託費支出	10,920,104	10,508,164	411,940	
	雑費支出	1,374,385	1,246,181	128,204	
	小計	114,018,550	111,546,247	2,472,303	
事業活動支出計		1,242,139,230	1,249,563,106	△ 7,423,876	
事業活動収支差額		174,043,828	174,348,640	△ 304,812	

勘定科目		予算	決算	差異	備考
大科目	中科目				
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
①	基本財産取崩収入	240,000,000	240,000,000	0	基本財産取崩を計画どおり実施
②	特定資産取崩収入	140,438,183	130,183,588	10,254,595	
	特定資産取崩収入	162,581,464	160,135,177	2,446,287	
	特定資産取崩収入	167,732,000	83,200,000	84,532,000	大型作品取得未実施他に伴う取崩額減少
	特定資産取崩収入	0	0	0	
③	土地売却収入	0	792,947	△ 792,947	
	投資活動収入計	710,751,647	614,311,712	96,439,935	
2. 投資活動支出					
①	基本財産取得支出	4,000,990	5,182,148	△ 1,181,158	
②	その他固定資産取得支出	813,953,965	126,320,490	687,633,475	大型作品取得未実施他に伴う支出減
③	特定資産取得支出	36,735,651	36,796,024	△ 60,373	
	助成事業積立資産繰入支出	538	1,202	△ 664	
	修繕積立資産繰入支出	28,080,000	46,500,000	△ 18,420,000	修繕積立資産への繰入額増加
	美術館事業積立資産繰入支出	0	571,856,050	△ 571,856,050	大型作品取得用資金を繰り入れ
	事務所建設積立資産繰入支出	0	0	0	
④	敷金支出	0	0	0	
	投資活動支出計	882,771,144	786,655,914	96,115,230	
	投資活動収支差額	△ 172,019,497	△ 172,344,202	324,705	
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
①	借入金収入	0	0	0	
	財務活動収入計	0	0	0	
2. 財務活動支出					
①	借入金返済支出	0	0	0	
	財務活動支出計	0	0	0	
	財務活動収支差額	0	0	0	
Ⅳ 予備費支出					
	当期収支差額	2,024,331	2,004,438	19,893	
	前期繰越収支差額	48,235,520	48,235,520	0	
	次期繰越収支差額	50,259,851	50,239,958	19,893	

IX. 島別施設別収支計算書（令和3年4月1日～令和4年3月31日）【参考用】

(単位：千円)

勘定科目		直島・女木島グループ							
大科目	中科目	地中	李	銭湯	ANDO	六区		女根&レフト	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	132,966	17,730	9,417	9,150	0		0	169,263
	公益販売事業収入	51,588	10,217	10,813	2,791	75		0	75,485
	小計	184,554	27,947	20,230	11,941	75		0	244,748
その他収入	雑収入他	29	1	0	1	0		0	31
事業活動収入計		184,584	27,948	20,230	11,941	75		0	244,778
2. 事業活動支出									
事業費支出		219,867	47,931	43,734	14,707	2,457		2,310	331,007
事業活動支出計		219,867	47,931	43,734	14,707	2,457		2,310	331,007
事業活動収支差額	【決算】	△ 35,284	△ 19,984	△ 23,504	△ 2,766	△ 2,382		△ 2,310	△ 86,228
	【予算】	△ 39,329	△ 20,946	△ 23,091	△ 4,325	△ 5,181		△ 2,290	△ 95,162
	増減	4,045	962	△ 413	1,559	2,800		△ 20	8,934

勘定科目		犬島・豊島・小豆島グループ							
大科目	中科目	犬島	豊島美・森	ボル	横尾館	八百万ラボ	針工場	福武ハウス	計
I 事業活動収支の部									
1. 事業活動収入									
事業収入	公益事業収入	11,076	35,014	5,508	4,804	0	910	18	57,331
	公益販売事業収入	8,682	20,596	3,514	503	0	291	25	33,612
	小計	19,758	55,610	9,022	5,308	0	1,201	43	90,943
その他収入	雑収入他	2	29	3	3	0	0	0	39
事業活動収入計		19,761	55,640	9,025	5,311	0	1,201	43	90,981
2. 事業活動支出									
事業費支出		75,719	113,611	11,286	14,015	205	4,765	1,776	221,377
事業活動支出計		75,719	113,611	11,286	14,015	205	4,765	1,776	221,377
事業活動収支差額	【決算】	△ 55,959	△ 57,971	△ 2,260	△ 8,704	△ 205	△ 3,565	△ 1,733	△ 130,396
	【予算】	△ 56,299	△ 56,117	△ 1,955	△ 8,681	△ 201	△ 3,401	△ 1,534	△ 128,188
	増減	341	△ 1,854	△ 306	△ 23	△ 4	△ 164	△ 199	△ 2,209

令和 4 年 5 月 12 日

公益財団法人 福武財団
理事長 福武 總一郎 殿

公益財団法人 福武財団

監事 和 田 朝 治 

監事 尾 尻 哲 洋 

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの公益財団法人福武財団の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第197条において準用する第99条第1項並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第33条第2項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上